

第68回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】
番組部門 審査結果及び講評

部門	審査順	学校名	作品名	結果	講評(主審)	講評
ラジオ ドキュメント	1	四天	海を越えて	4位	“コロナ禍だけではない事実がある海外事情”を高校生の目線からみるのであれば、ナレーションベースよりも、主人公の宮田さんの思いの声をベースに構成した方が引きつけられるのではないかと。「コロナ禍の今だから体験できる宮田さんの心の叫び」をドキュメントにする方が良いと思う。	テーマ選びは良い。自分たちの問題意識が明確になっていないのが課題。BGMの大きさ、インタビューの音量など音声表現にも工夫を。ナレーションの役割も再考しよう。なお、ナレとナレの間が詰まっている感じなので適切なタメを入れよう。Cueシートの権利番号に○なし
	2	箕面自	この道	3位	ルーマニア人の視点から、日本人が英語を学ぶことの難しさを語る視点は面白い。ただ、なぜマキシム先生のインタビューを聞かなければいけないのかというモチベーションはなかなか湧きづらい。先生が話しかけるというオチに広がりがないため、内輪の話にとどまってしまうところが残念。タイトルも弱い。	構成に工夫がほしい。一番伝えたい内容を明確にしてほしい。内容は面白いがどちらかというとテレビ向きの内容。先生の語りが長いのが気になる。音質はきれい。様式2-3(一覧表)がない。Cueシートに○なし
	3	相愛	ムカデ先生の寄り道人生	1位	「ムカデ先生」というタイトルが良い。生徒の最初のインタビューもノリが良いので良い。「ムカデが好きです」がタイトルよりも先に来る方が面白いのでは？ムカデと音楽と海外留学を、最終的に「寄り道」につなげるのは良いのだが、音楽とムカデにこだわった方が、“深さ”が増幅できたのでは？ただ、「寄り道はムダじゃない」というメッセージは伝わる。	内容がおもしろい。テンポもあってよかったが、タイトルが「ムカデ先生」なので、実験を再現するなど深堀りしてもよかったのでは？音質の面ではいくつか気になることがあります。インタビューの録音レベルはできるだけ整えよう。ステレオ逆位相の問題はきちんとチェックしておこう。一覧表に○なし。
	4	府箕面	未来へ繋げる	2位	“おおつづみ”が面白いのだが、画が頭に浮かんでこない。もう少しそこを膨らませるインタビューやコメントが入ってつかんだ方がよかったのでは？としやさんの人生をみていく話なのか、音楽の話なのか？話がいくのがちがってもったいない。さらに校訓でまとめているのが、学校の宣伝みたいになって、すべてが台無しになってしまう。	なぜこの人物を取り上げたのかが伝わりにくい。最後の質問とまとめがありきたり。BGMの使い方やテンポは良かったがお父様のインタビューをもう少しクリアにしてほしかった。Cueシート最後のナレーションが微妙に違う
	5	四天	二足の草鞋	入選	タイトルは“神主先生”のほうがストレートな気がする。ギャップの話はいいのだが、先生が神主であることが、生徒たちと直接どんな風に関わっていくのかが、先生目線ではかかれていないのがストレス。凜念と奥様の言葉だけでは弱い、最後がタテマエに聞こえてしまう。ドキュメントは本音を描くべき。	タイトルが直接的すぎる印象。冒頭で種明かしされているので、神主というもう一つの顔の意外性が薄れてしまっている。どのような先生なのか表現する手段を増やした方がよい。インタビューが長いのが残念。音は聞きやすかった。Cueシートに○なし

第68回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

番組部門 審査結果及び講評

部門	審査順	学校名	作品名	結果	講評(主審)	講評
T V ド キ ュ メ ン ト	1	仰 星	吹奏楽部 の今、届 けたいこと	入 選	山下さんのインタビューに頼る形と、高校だけでなく、普通の彼女の向き合っている時間などの映像があった方が良いのでは？ 彼女自身が明るく、前向きなので、見ることはできるが、全体を通して何を伝えたい番組かがわからない。	テーマ設定は良い。映像はよく撮れていると思う。カメラワークの工夫に努力しているのがよくわかる。なぜ山下さんを扱ったのがよく分からない。ナレーションが少し早口。フルートの音がほしい。テレビの利点を感じられなかった。
	2	夕 陽 学	学習改革 時代	2 位	“コロナ”と“ながら勉強”の課題意識がつかないのでは？ディベート形式の賛否から始めた方が、もう少し乗っかれた気がする。 “問い”、“検証”と取材の構成は面白く、情報は面白かった。「学習革命時代」というタイトルが、まじめをねらっているのか、はずしているのか、はっきりさせたほうが良い。	面白い。身近な疑問点から検証し、学識者にお話を聞き、結論を導き出すという展開は安心感がある。リモート取材までしているのは良い。生徒インタビューが、場所の問題なのか、背景ノイズが大きい。小テストは何点満点？
	3	西 成	THE THIRD PLACE	3 位	映像上、まずは、カフェの盛り上がりや(実際にワイワイか)相談しているところを、まずはオンにした方が良いのでは？もちろんプライバシーはあると思いますが…。誕生日だけのイベントの画が逆に浮いているし、この居場所感の本質が出ていないのでは？居場所を見つける人間を主人公にするのが、良かったのでは？ゲーム、おかし、会話が聞きたい。	落ち着いた展開、テーマの選び方も良い。テロップの使い方が効果的。インタビューの長回しは単調になるので、画像のインサートなどで工夫したい。最後のBGMが大きい。ポスターや奥田さんの背景の絵の許諾は大丈夫？
	4	箕 面 自	0.5ミリの プレッ シャー	4 位	顧問の先生のインタが面白い。“淡々と”、“心の揺れ”があらわれるスポーツだという言葉がちゃんとしているがゆえに、心の揺れの話に期待しているのに、結びがアスリートの話。親に説得される話になっているのが残念。人間ドキュメントとして惜しい。 コロナを絡めないところは新鮮だった。	復帰まで追いかけたのはすごい。テロップ使い方もいい。射撃場の画では上手いところも見えた。タイトルの「0.5ミリ」はどこから？インタビュー映像が同じカットで長いので、単調さを防ぐ工夫を。テーマが不明確。構成をもっと練ってほしい。
	5	相 愛	合唱をした い	1 位	映像と編集のもって生き方がすごく良い。合唱をやりたいという思いと卒業に向かって進む生徒たちの空気感がステキだった。ただ、リモートの歌場面の音と映像をオフにしたのもったいない。あと“卒業”がよくわからない位置づけなのが混乱した。	これぞ「ドキュメント」。苦労や思いが伝わる。感動した。1年間のしつかりした取材力を感じた。音量のバランスが悪い。一人ひとりの生徒の声を集めてほしかった。3年生のインタビューの画のポジションが気になる。

第68回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】
番組部門 審査結果及び講評

部門	審査順	学校名	作品名	結果	講評(主審)	講評
ラジオ ドラマ	1	浪速	フィードバック	入選	主人公のモノクロベースだが、欠席しはじめた主人公がなぜそんなに全部知っているのか、そっちの疑問が浮かんでくる。夢オチの何がオチているのかわからないので、ストーリーの逃げで使っているように思える。構成に頼って感情のないドラマ。	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの連鎖性を捉えたテーマ設定がよい。口調とBGMが合わさってよく表現できていた。 ・いじめをテーマにしたドラマ。負の循環を描いている。主人公(?)の独白がナレーション代わりとなって展開していくが、少し説明調になっている。他の登場人物の台詞で状況を描ける方が自然なストーリーになるのではないか。タイトルは、「オマエナシ」の方が作品を象徴しているように思う。 ・休んでいる「僕」が暮らすの動きを知っていることなど、なぜ?と思うことが多い。いじめの本質に迫り切れていない。 ・「フィードバック」という言葉の「本当の使い方」を調べておいてください。いじめが次のいじめを生むという発想でしょうが、現実にはあり得ない展開です。セリフを重ねて「強調」するやり方は、とても効果的だと思う。結局、このドラマで言いたかったことは? 夢オチ? ・「ぼく」はどうやってこのようなこと(クラスの状況)を知ったの? 「結局同じことをしてるやん」というのがオチ? 主人公がそれに気づく展開は浅いと思う。BGMいい感じ。 ・「お前なんて」という言葉が効果的。イジメの連鎖がうまく取り上げられている。エンディングのねらいがわからない。BGMが少し多いかも。 ・Cueシート 1分18秒のところ「楽曲」の前に「①」記入漏れ
	2	府箕面	瑕が咲く	1位	前半の主人公と女生徒の会話、感情がきちんと見える。「二人だから前に踏み出せる」感じが演出できている気がする。「本人はどうしようもない、つきあっていくしかない」「いや、深く考えないで良い」の掛け合いが良い。最後、プールに飛び込む音で終わるのが、ベタだがはまっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・映像で表現しにくい部分がかまく表現できている。ネガティブに表現されやすいことをポジティブに描いていた。 ・身体的な障がいや特徴のある高校生をテーマにしたドラマ。よく描けている。あえて難点を言えば、ドラマの後半で「個性」という言葉を使っているが、少しありきたりな落とし方に感じる。その直後の「あざがある。それだけ」とい台詞が秀逸なだけにもったいない。 ・深く考えさせる内容。前向きな気持ちにさせる作品。流れも自然。エンディングが印象的。 ・義手とアザをテーマにしているが、どうしてとりあげたの? アザは美容整形で何とでもなりますよ。ミニスカートを買いに行く前段の思い立つシーン、気持ちの変化が急すぎないか? そのあとの義手を外すところも同じ。陰口(悪口?)のシーンは必要か? (無理に入れた感が強すぎる) ・よくこの題材をと思うけど、義手については本当にそうなの? プールのSE、入ってます? もっとわかりやすく入れたい。最後の友人(男)の音声レベル、大丈夫? ・「腕がないところをみられたくない」、「足のあざを見られたくない」弱いところを隠したままはダメ→この変化が唐突。BGMは必ずしも効果的ではない。「自分を隠すな」というメッセージが説教くさい。問題はもっと複雑。 ・Cueシートの綴り順序が乱れている。
	3	今宮工	最後のひとつが無くなった	2位	展開が遅い。二人の男女の関係性がわからない時間が続く。「勉強会に誘う」というイベントが何の意味なのかわからない。キャラクターと状況設定がオフになりすぎていると、ドラマを聞くモチベーションが落ちていく。「敏感すぎる(耳?)」というのが、どうい悩みなのかかわからない。そこに感情の起伏が無いので、ドラマになっていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の中の「せんさいさん」をよく考えて表現されていた。タイトルの振りと回収が短すぎないでしょうか。 ・冒頭からPC触るまで、BGMが同じで単なる2人の掛け合いが続き、場面が変わっているはずなのに、変わっていないように聞こえてしまう。過敏性の女の子と寄り添う男の子、長い物語の1話なら楽しめるが、単発のドラマとしては、何を描きたいのか伝わりにくい。 ・技術の高さを感じる。ドラマらしい展開。 ・回想シーン明けからの話のまとまりがわかりにくい。 ・BGMではなくてSEを使って時間経過を伝えたい。ストーリー、何が言いたかったの? ラスト、言いたいことはわかるが、そこまで長い。もっと劇的にいきたい。 ・場面転換、時間経過が伝わりにくい。何の話になるのかなかかわからない。短い時間のドラマには不向き。ドラマ仕立てにした理由は何?
	4	堺リベ	透明水彩	入選	音の効果を意識している点が面白い。「色がただの飾り」と先輩が言うのが、構成的にやや厳しい。主人公のアミの悩みが深まらないまま、告白物語に向かっていくところが、ドラマになっていない感じ。出来事ありきな感じが強い。	<ul style="list-style-type: none"> ・演技が強いが制作を聞いて納得。タイトルと非常にリンクして表現されていた。 ・多人数の教室や雑踏など、たくさんの声が聞こえるが、どのように録ったのか興味深い。特徴的な声質の部員さんを活かした配役、ストーリーは、王道の学園恋愛もの。色覚異常を題材にするのであれば、もう少しそのことをえぐり描いてもよいように思う。少し物足りない。 ・ドラマらしい作品。訴えるものが欲しいところ。 ・SEの使い方を工夫しよう。不要なSEはカットしてもよいのでは? ストーリーはラストの展開が読める。ストーリー展開が急。セリフとセリフのあいだ、「間(ま)」をもう少し調整した方がよい。セリフ終了後のノイズが目立つ(録音環境に工夫をしよう) ・男子高校生を女子の声でするのはどうか。演技は上手いが、少し下げさなところも。色がわからないという設定、なるほどね。でもこのような扱いてよいのか? ・マイクに近すぎる人がいる。息が聞こえる。ラジオドラマでは、時間のスキップが伝わらない。テーマは何? 色覚異常の問題を扱うには、このオチはどうか。

第68回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】
番組部門 審査結果及び講評

ラジオ ドラマ	5	箕面自	モノクローム スケッチ	3位	<p>自宅で話す男女が、日々どういう生活を送っているのか、学校に行っているかどうかなどわからない点が多い。設定がちぐはぐなため、引きこもりやそれぞれの“違う”への悩みや感情の揺らぎが、見えにくくなっている。それにより、最後がキレイゴトに見えてしまっている。回想シーンにもう少し工夫が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの個性の融合がうまく表現されていました。 自己紹介のシーンで、フルネームで名乗り合うのが少し不自然。しかも、不登校？引きこもりがち？な2人にしては、初対面から対人関係スキルの高い会話が展開されていて違和感がある。アルビノ、色覚異常を題材にした物語で、意欲作として評価したい。 もう少し深みが欲しい。 展開が読めるストーリーで、ラスト(オチ)に工夫がほしかった。手紙が入るタイミングが早すぎる。(都合よすぎ)メインテーマは何？ そういう設定ですか…。身体的なこと(遺伝的なこと)は、もっと調べてみてください。2人の思いがよくわかってきた。少ない出演者でわかりやすかった。 若干安易だが、いろいろな伏線がうまく回収されている。結論の一言は必要か？
------------	---	-----	----------------	----	--	--

部門	審査 順	学校 名	作品名	結果	講評(主審)	講評
TV ドラマ	1	府箕面	冬とヒマワリ	2位	<p>“冬”が引かかる…。主人公がどちらなのかかわからない。どちらの心情を積み上げていくのか。あまり先生や親に時間を割かない方がいい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現実との乖離が感じられる。すんなりと入ってこない。 背景の合成を実際のシーンで何とかできなかった？音量LVがバラバラで、聞きづらいところがある。スマホの写真画面がとも見づらい。懇談無視して大丈夫？ラスト急すぎる。 音声レベル、そろえたい。お母さん、おいくつ？「女でも大学に…」っていつのこと？先生役、とても先生らしい。お母さんもお母さんらしい。懇談に乱入するところ、担任、先に注意しないか？ストーリーとしてはよかった。最後の2人が印象的。ライティングも考えて撮影したい。 合成時の明るさに注意。音ずれの箇所があり？名前で2人を表現しているようにしてよい。高校生らしい結末でよいでしょう。 受験や親からのプレッシャーの悩み、超直球のみなみさんと親に従わざるを得ない悩めるゆきさん。「女でも大学に行ける…」→時代設定に疑問。お母さん、そんなすくに間違いを認める？ 親の思いにこたえようとする子は、実は自分を確立できていない子。その複雑な心理を、上手に描いている。“担任の先生”のご登場には、思わず笑ってしまいました。 2人を撮影するカメラワーク、左右が替わるので見にくい。見ていて安心するカメラワークを心がけよう。
	2	常翔	イッテツタンリョ	入選	<p>なぜ急に“サプライズ誕生日パーティー”なのか。主人公の心情がわからないまま、3人の女子生徒の勘違いが始まるのが、ドラマでなく、コントになっている。親友を心配する3人のドラマにするにも、設定が厳しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> セリフの聞き取りにくいところあり。流れが自然ではない。強引な展開も。 セリフ(個人説明のシーン)がとも聞き取りにくい。「～回想中～」のテロップは不要。プレゼントの小袋(紙袋)はコマダのもの？放送室(部室)以外のシーンはないの？ラストの一言が聞き取れない！ キャラ紹介、意味ある？集まってしゃべるところ、カメラアングルを考えたい。先に帰るみおの表情が見たかった。「切れ痔」って…。ラスト、部室を出て行く4人の表情を映したかった。 人物紹介は面白い。1週間のつなぎは、工夫ありでよい。ストーリーにもう少し工夫が欲しい。 コメディ？として制作したのだと思うが、テーマとして伝わるものがない。 ナレーションの音がこもっている。4人の会話のシーンの録音LVと登場人物紹介のシーンのナレーションのLVをそろえてみよう。「ち」というオチは意外性があるよ。ところで、何を根拠に「転校」って発想になったのか…。ほかに「元気がなくなる」要因はあるはず。王道のストーリーだからこそ、不自然な要素を排除しよう。
	3	箕面自	非合理の極み	1位	<p>かほのドラマであるなら、彼女が「友だちが本当は欲しい。でも友だちなんて最大の非合理なんだ」というところのスタートを明確にした方がいい。かほのカットが少ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 面白いテーマ設定。多少強引さはあるが、見ていてネガティブな感じはない。 同じカットが繰り返されていて単調に感じます。テーマとストーリーが合致していないように思います。 「非合理ん」って…。もう少し名前工夫しましょう。かほさんの声、録れていないのでは？2人のやりとり面白い。カメラワークもよい。見ていてわかりやすいが、もっと2人のキャラを立てたらもっと面白くなるのでは？ 名前で設定がわかりやすい対立。ストーリーにひねりが欲しい。 セリフにエコーがついている。字が汚い→パソコンうち、設定が安易。「縁は異なるもの”的なストーリー。 冒頭の登場人物の紹介で、性格・考え方でテロップにしてしまうのは、「出オチ」のようでもったいない。台詞や仕事で“効率性至上主義”などの特徴が際立つように描くのが良い。2人に絞ったストーリーで“ムダ”のない良作。 テストパターンが4:3 →「SD画質」を気にしたと思うが、16:9の方を使って大丈夫です。

第68回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】
番組部門 審査結果及び講評

T V ド ラ マ	4	旭	つながり	入選	<p>意欲作だが、ホラーとして見るのか、タイムスリップものとみるのか、やや脚本がぶっ飛び過ぎていて成立していない。ドラマになっていない。</p>	<p>・難解で、1回見ただけではわかりにくい。作品名がテーマと言うことはわかるが…。</p> <p>・冒頭のシーンは、風のない日に撮れなかったか？背景に流れている吹奏楽部の音の入れ込みは、わざと？全体的に映像がにじんでいる。途中で4:3になっているのは効果を狙った？(でもわからない。設定ミスに感じてしまう)。黒バックの音声のみのシーンは、きちんと画をいれるべき。</p> <p>・河川敷のシーン、風の音が気になる。教室での女子2人の会話、光の当たり方を気にして欲しい。視力がない設定なら、白杖などがないとわかりにくい。何も無しで歩くのは？スマホで撮ったの？画面の比、確認しましょう。</p> <p>・目に見えないの表現のかな？題材のテーマが伝わりにくい。</p> <p>・風の音が気になる。目の不自由？な少年 途中の回想(?)は意味不明。テーマは「目に見えない絆」？納得感がない。</p> <p>・マイクに風防をつけよう。河川敷の美しい風景だが、風の音や遠くのサイレンが混ざること、効果が半減している。最後にあるタイムパラドックスの展開、少しわかりにくかった。</p> <p>・歌っている生徒に隣接権の記載が必要かも？</p>
	5	槻の木	リーガルストーリーカー	3位	<p>画の構図が面白い。人間不信というテーマ、暴力を描くには少し尺がない。すばるくんの心情がわからない。むしろ、放送部の女性を主人公にするほうが面白いかも。</p>	<p>・テーマははっきりしているが、展開がつかないところがある。</p> <p>・セリフが聞き取りにくい。掲示板の書き込みをゆっくり見ていられない→画面切り替えが早すぎる カメラを回さずにきちんとアングルを切り替えよう。終わり方にもう一工夫欲しい。</p> <p>・カメラワークを考えたい。2人のシーンは、カメラを振ったり上下に移動させたりは見にくい。部長さんの「悪女」な顔を見せて欲しかった。なぜそういうオチ？</p> <p>・光の入り方に注意を。突然終わった感あり。</p> <p>・セリフが聞き取りにくい。音のバランスも良くない。個人情報と面白い記事→FakeNews、期待に応えるべく面白い記事を書く？ 結構DarkなStory</p> <p>・得意のダークエンドストーリー。今回も楽しませてもらいました。家族が振り回される描写を少し入れてもよかったですように思います。</p>